

一般質問通告表

令和3年第10回沖縄県議会(定例会)

12月09日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	17分	瀬長 美佐雄(日本共産党沖縄県議団)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 2022年、日本復帰50年を迎えるに当たって</p> <p>(1) 「誇りある豊かな沖縄」に込めた前知事の思い及び遺志を継承する決意を伺う。</p> <p>(2) 「建議書」と「建白書」の歴史的意義とその要請項目について実現の現状を問う。</p> <p>(3) 沖縄戦や米軍施政権下の沖縄県民の暮らし等について</p> <p>ア 沖縄戦の実相、犠牲者数、戦後の遺骨収集について(糸満市や八重瀬町で)</p> <p>イ 米軍施政権下の沖縄県民の人権と日本復帰運動への見解を問う。</p> <p>ウ 戦後の米軍基地から派生する事件・事故・犯罪などの被害件数や県民の命が奪われた主な事件・事故の内容を問う。</p> <p>(4) 沖縄戦や米軍施政権下の県民の人権や、日本復帰に関する歴史教育の現状と課題を問う。</p> <p>(5) 日本政府の軍事力増強、敵基地攻撃能力の保有増強、日・米・欧の軍事協力拡大の動きは、県民の不安を高めている。日本政府の動向は、「日本復帰」や「建議書」に託した県民の願いを裏切るものでないか、沖縄戦の教訓を生かした平和外交が重要でないか、見解を問う。</p> <p>(6) 沖縄21世紀ビジョン「基地のない平和な島」実現に向けた県の取組を問う。</p> <p>2 介護事業所や介護士等への支援について</p> <p>(1) 介護事業所の休廃業の状況とコロナ感染症対策支援の成果と今後の対応、介護士確保・支援策の強化を求める。</p> <p>(2) 自公政権により、介護施設利用料やケアプラン有料化など負担増が懸念される。県民負担の影響を問う。国に対して、負担増の中止を求めるべきと思うがどうか。</p> <p>3 ヘイトスピーチ規制条例(仮称)の制定に向けた進捗状況を問う。</p> <p>4 誇りある伝統文化の継承と発展について</p> <p>(1) 沖縄空手の継承、発展させる取組とユネスコ無形文化遺産への登録に向けた取組について</p> <p>(2) 「おきなわ伝統工芸の杜」整備の進捗状況と伝統工芸産業振興の取組を問う。</p> <p>5 国際交流・協力の推進について</p> <p>(1) 第7回世界のウチナーンチュ大会の準備状況、ジュニアスタディーツアーとの連携を問う。</p> <p>(2) 世界のウチナーンチュセンター(仮称)が期待されるが、検討状況を問う。</p> <p>6 名護市辺野古沖の長島の鍾乳洞に世界的に報告例がない生成物、鍾乳石の塔が見つかり、極めて貴重な鍾乳洞の現状保存と大規模な調査の必要性を専門家が求めている。大浦湾のチリビシのアオサンゴ群集と併せて、県として調査し、県の天然記念物指定に向けた取組を求める。</p> <p>7 我が党の代表質問との関連について</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和3年第10回沖縄県議会(定例会)

12月09日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	17分	新垣 光栄(おきなわ)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 沖縄に漂流・漂着した軽石問題について</p> <p>ア 県内の被害状況と撤去対策について伺う。</p> <p>イ 県の財政支援策と国への財政措置要請について伺う。</p> <p>(2) 基地問題について</p> <p>ア 辺野古の設計変更申請不承認の決断について、知事の見解を伺う。</p> <p>イ 宮古、石垣の自衛隊ミサイル部隊配備と台湾有事合同訓練について、知事の見解を伺う。</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染対策について</p> <p>ア これまでの新型コロナウイルス感染症対策の評価・検証について伺う。</p> <p>イ 評価・検証を生かし第6波に備えた、具体的な改善策や戦略的施策について伺う。</p> <p>ウ ワクチン・検査パッケージについて、取組状況と課題、知事の所見を伺う。</p> <p>2 令和4年度沖縄振興予算について</p> <p>(1) 沖縄振興予算の国直轄分と地方向け補助金の推移について伺う。</p> <p>(2) 公共投資交付金の減額による県事業と市町村事業の影響について伺う。</p> <p>(3) 地域活性化及び生活環境への影響について対策を伺う。</p> <p>3 東海岸地域の振興について</p> <p>(1) 県土の均衡ある発展を支える「東海岸サンライズベルト構想」の施策を伺う。</p> <p>(2) 大型MICE施設の整備等に係る取組状況と今後の実施工程について伺う。</p> <p>(3) モノレール延伸に向けた調査の進捗状況と関係市町村への対応について伺う。</p> <p>4 リュウキュウマツ、アカギ、デイゴ等の病虫害防除対策について</p> <p>(1) 病虫害による樹木の被害発生状況について伺う。</p> <p>(2) 病虫害の防除対策と予算措置について伺う。</p> <p>(3) 初期防除の体制と各関係機関の連携強化について伺う。</p> <p>5 我が会派の代表質問との関連について</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和3年第10回沖縄県議会(定例会)

12月09日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	17分	喜友名 智子(立憲おきなわ)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 ひとり親家庭支援について</p> <p>(1) 沖縄県内における母子寡婦・父子世帯の現状と課題を伺う。</p> <p>(2) 「低所得の子育て世帯に対する生活支援特別給付金」、「高等職業訓練促進給付金」、「ひとり親家庭住宅支援資金貸付事業」の事業内容と、県内での支給・運用実績を伺う。</p> <p>(3) 県内在住女性を対象にした「国際家事福祉相談所」の実績について伺う。</p> <p>2 新型コロナ対策について</p> <p>(1) 第1波から第5波までの検証内容と、そこから導き出される向こう1年のコロナ対策の見通しを医療・経済・社会生活の観点から伺う。</p> <p>(2) 沖縄県内空港の水際対策について現状を伺う。</p> <p>(3) 那覇空港国際線の再開に向けた課題は何か。</p> <p>3 沖縄振興策について</p> <p>(1) 「海洋島嶼圏」、「海洋立国」の目標と、沖縄が抱える「島チャビ」解消をどのようにひもづけているか。</p> <p>(2) これまでの沖縄振興策は県内企業の成長にどのように寄与したか。また、いまだに残る課題は何か伺う。</p> <p>(3) 新たな沖縄振興策では、県内で経済活動を行う企業の成長をどう意義づけているか。</p> <p>(4) 県内の伝統工芸産業・文化芸術産業の振興をどう意義づけ取り組むか。</p> <p>4 米軍基地問題について</p> <p>沖縄の日本復帰50年に合わせ、知事が政府に「在沖米軍専用施設の割合を、全国の50%以下にする」よう要請した一方で、米軍以外の国連軍が在沖米軍基地を使用している実態がある。沖縄の基地負担軽減の観点から県の見解を伺う。</p> <p>5 我が会派の代表質問との関連について</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和3年第10回沖縄県議会(定例会)

12月09日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	17分	仲村 未央(立憲おきなわ)	知事 関係部長等
質問要旨			
<ol style="list-style-type: none">1 市街地にある施設へのオスプレイの飛来、つり下げ、落下事故等、住民生活を脅かす米軍の運用が日常化している。米軍基地の「使用条件」について県の認識と政府、米軍の対応を伺う。2 復帰50周年を迎えていく中で、半世紀の総括と展望を県民の視点で「宣言」、あるいは政府等への「建議」としてまとめる必要があると考えるが、取組を伺う。3 小さく生まれた赤ちゃんの成長を見守る「リトルベビーハンドブック」(低体重児の母子手帳)の作成を願う母親らの活動があるが、県の対応を伺う。4 我が会派の代表質問との関連について			

一般質問通告表

令和3年第10回沖縄県議会(定例会)

12月09日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	17分	西銘 純恵(日本共産党沖縄県議団)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 子供の貧困対策について

- (1) 全国に先駆けて、翁長前県政が独自に子供の貧困調査を行った経緯を伺う。
- (2) 調査結果はどうだったか。これまでの翁長前県政、玉城デニー県政の取組による特徴的な成果を伺う。
- (3) 県の就学援助の取組を伺う。また、就学援助率は当初と比べてどうなったか。今後の拡充策を伺う。
- (4) 子供の貧困対策は次期振興計画での大きな柱になる。次期計画を問う。

2 教育行政について

- (1) 沖縄県は少人数学級を実施しているが、国の制度と沖縄県の実施状況を伺う。
- (2) 小学1・2年生を30人学級にしているのは何県あるか。中学3年生まで35人以下学級にしているのは何県あるか。
- (3) 小学1・2年で、30人学級になっていない学校はどれだけか。30人学級を完全実施すべきではないか。さらに、中学3年生までの30人学級を進めることについて
- (4) 宮崎県が、今年12月を目途に、52の全ての県立学校にトイレットペーパーのように生理用品を配備することを発表している。学校への配備の取組を伺う。

3 生活保護行政について

- (1) 生活保護利用は5年前と比較してどうか。生活保護は憲法に定めた国民の権利であるが、県庁ホームページで、生活保護制度についてどのように広報しているか。
- (2) 扶養義務の履行を保護に優先させるという記述は、「保護の要件」と誤解を与えるものではないか。改善することについて伺う。

4 沖縄県が病院拠点型性暴力被害者ワンストップ支援センターを設置した経緯及び相談・支援状況と今後の拡充について伺う。

5 辺野古新基地は軟弱地盤で工事は不可能である。知事が設計変更申請を不承認にした。政府は埋立工事を止めて辺野古新基地建設を断念すべきである。県民投票で72%が反対している沖縄の民意を踏みにじり、戦争のための基地建設の強行に怒りを禁じ得ない。これまでの工事費と今度の補正予算は幾らになるのか。コロナ禍でも、軽石被害に苦しんでも工事を強行しているのは税金の無駄遣いではないか。

6 軍港問題について

- (1) 那覇軍港にMV22オスプレイが着陸、陸揚げされたのを政府が容認しているのは許せないと思うが、どうか。
- (2) 「港湾施設及び貯油所」が使用目的とされているが、米軍が運用と言えどどんな基地でも自由勝手に使用できるのか、見解を問う。
- (3) 主権を侵害されても米国言いなりの政府では、浦添新軍港も原子力潜水艦や大型艦船、オスプレイが使用する基地になるのではないかと、浦添新軍港に反対をすべき。

7 米軍基地からのコロナ感染防止策について

- (1) 各国で新変異株のオミクロンの感染が急拡大し、政府は、当面1か月間の全世界の外国人の入国禁止を発表した。海兵隊員が年数回でローテーション配備される沖縄県では米軍基地からの感染拡大が懸念される。政府は、訓練を中止させるなど米軍関係者の入国を禁止すべきではないか、見解を問う。
- (2) オミクロンで不安が広がっているが、これまでの感染状況はどうか。米軍でゲノム解析は行われているのか。

- (3) 米軍関係者から県民への感染を防ぐために、県は厳しく対応すべきだが、取組を伺う。
- 8 浦添市内間西公園から安謝川沿いはウォーキングコースとして市民に利用されている。一部が危険箇所として通行止めになっているが、復旧工事の進捗を伺う。
- 9 我が党の代表質問との関連について

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和3年第10回沖縄県議会(定例会)

12月09日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	17分	当山 勝利(ていーだ平和ネット)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 県道38号線について</p> <p>(1) 城間前田線街路事業における整備状況について伺う。</p> <p>(2) 港川道路の整備状況について伺う。</p> <p>(3) 屋富祖通りの拡幅について県の考えを伺う。</p> <p>(4) サンパーク通りの県道への格上げについて県の考えを伺う。</p> <p>2 科学技術振興事業について</p> <p>(1) これまでの成果について伺う。</p> <p>(2) 一括交付金を活用されてきたことに対する評価を伺う。</p> <p>(3) 次年度以降の取組と予算について伺う。</p> <p>3 沖縄県の物流及び港湾について</p> <p>(1) 新たな振興計画(中間取りまとめ)において</p> <p>ア 「アジア・ゲートウェイ」を実現するための機軸に中城湾港新港地区が加えられた経緯と理由について伺う。</p> <p>イ 中城湾港新港地区との連携強化のために重要物流道路等の整備を促進するとあるが、那覇に物流が集中しさらなる渋滞が発生する懸念がないか、どのように検証されているのか伺う。</p> <p>(2) 那覇港浦添埠頭地区内には自然的環境を保全する地域があるが、その地域の自然環境を保全するための県の関わりについて伺う。</p> <p>4 第32軍司令部壕について</p> <p>(1) 壕の保存・公開とともに、将来的には近隣に第32軍司令部壕に関する資料を公開する場所が必要ではないか、見解を伺う。</p> <p>(2) 第5坑口辺りは私有地であるが、周辺地域において開発が進んできている。早急に対策を取る必要があると考えるが取組について伺う。</p> <p>5 我が会派の代表質問との関連について</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和3年第10回沖縄県議会(定例会)

12月09日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
7	17分	次呂久 成崇(南風)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 自衛隊や米軍による合同演習が活発化している。県内で11月中に行われた訓練とその規模、使用された県内の民間港について伺う。</p> <p>(2) 港は県民生活を支える重要なインフラである。民間港の使用を既成事実化し常態化することを危惧した市民団体が県内各地で抗議の声を上げているが、知事の見解と今後の対応について伺う。</p> <p>2 離島振興について</p> <p>(1) 7月に運航再開した粟国島—那覇の航空路線の運航状況について伺う。</p> <p>(2) 運休中の波照間、多良間の離島航空路線の再開に向けた取組状況について伺う。</p> <p>(3) 原油価格高騰による県内の影響について伺う。</p> <p>3 環境行政について</p> <p>(1) 県内離島市町村の廃棄物処理体制の実情と課題について伺う。</p> <p>(2) 「離島廃棄物適正処理促進事業」の実績と成果について伺う。</p> <p>(3) 産業廃棄物の処理に関して離島地域が抱えている問題の一つに「死亡牛」の処理がある。その現状と課題について伺う。</p> <p>4 農水産業行政について</p> <p>(1) 価格が高騰している配合・混合飼料、牧草等粗飼料の現状について伺う。</p> <p>(2) 価格高騰の要因とその対策について伺う。</p> <p>(3) 離島の畜産経営において配合飼料や牧草等の価格高騰の影響は大きい。県内の飼料自給率を向上させ、畜産農家の負担を低減する取組は喫緊の課題だと思いが見解を伺う。</p> <p>(4) 本県において、畜産は農業の基幹的部門となっているが、次期振興計画においての今後の基本的な展望について伺う。</p> <p>5 新型コロナウイルス対策について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症等の感染者搬送体制について伺う。</p> <p>(2) 県内各自治体の消防機関との患者搬送協定について現状を伺う。</p> <p>(3) 県内保健所の搬送車両の配備状況について伺う。</p> <p>6 我が会派の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

令和3年第10回沖縄県議会(定例会)

12月09日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
8	17分	照屋 大河(ていーだ平和ネット)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 知事の政治姿勢について

(1) 辺野古埋立変更申請不承認を発表した記者会見での発言について

- ア 知事は記者会見で「工事は絶対に完成しない」と明言したが、その根拠について伺う。
- イ 知事は「事実上、無意味なものとなる可能性がある埋立工事をこれ以上継続することは許されない」とも述べている。「無意味なものとなる可能性」の意味するところは何か伺う。
- ウ 設計変更申請をめぐって、県内外や国外から計1万7839件の意見が寄せられ、その全てが申請に否定的だったようだ。知事は記者会見で「県民と国民の思いを重く受け止める」、「決して沖縄だけの問題ではない」と述べている。寄せられた意見や県民投票で示された辺野古反対の民意は、知事が不承認を決断する上でいかなる影響を与えたのか伺う。

(2) 屋良建議書から50年。

屋良建議書の今日的意義について知事はどう考えているか、伺う。

(3) 沖縄における最高裁裁判官の罷免要求率について

県内の罷免要求率の高さの要因はどこにあると認識しているか伺う。

(4) 東村高江への機動隊派遣の違法性を認めた名古屋高裁判決について

判決に対する知事の受け止めを伺う。

(5) 岸田総理の核廃絶や敵基地攻撃能力の保有に対する姿勢について

岸田総理は就任後の所信表明演説で「被爆地広島出身の総理大臣として、私が目指すのは、『核兵器のない世界』です」と言いながら、核兵器禁止条約の署名・批准を拒んでいる。核廃絶を目指すとしながら核兵器禁止条約の発効には後ろ向きである一方、敵基地攻撃能力の保有には前向きな岸田総理の姿勢を知事はどう評価しているか伺う。

2 基地問題について

(1) うるま市における軍事訓練の激化について

うるま市では、浜比嘉島沖合の浮原島訓練場で去る11月2日、自衛隊と米軍による大規模な離島防災訓練が行われた。また、浮原島訓練場では、11月23日にも米軍によるパラシュート降下訓練が実施されている。

ア 今回の日米合同訓練は、離島防衛などの軍事作戦や戦闘を想定していないとのことだが、県として説明を受けているか。

イ 浮原島訓練場周辺はモズクの生産地で、漁船の航行があることから、うるま市議会はパラシュート訓練に反対している。県も同様の認識か、見解を伺う。

(2) 嘉手納基地に関連する基地問題について

ア 第4次嘉手納爆音訴訟の原告数が3万人を超えた。国内最大規模の集団訴訟となる。原告数増加の要因をどのように考えるか伺う。

イ 岩国基地所属のFA18A戦闘機やニュージーランド空軍の哨戒機など嘉手納基地への外来機飛来が相次いでいる。飛来機数や訓練実態、騒音被害との因果関係など県として状況を把握しているか。また、飛来増加の背景についてどう分析しているか伺う。

(3) 普天間飛行場関連の基地問題について

ア 基地内でのオスプレイによるつり下げ訓練、オスプレイによる基地周辺民間地への水筒落下、那覇軍港への同基地所属機の着陸など普天間基地絡みの問題が続発している。訓練中止や原因究明と再発防止に向けた県の取組について伺う。

イ 関連して、軍用機の飛来・着陸は、「5・15メモ」に記載のない那覇軍港の目的外使用だと考えるが、県の見解を伺う。

(4) 燃料パイプラインの管理不全について

天願棧橋からキャンプ桑江などの地下を通り普天間飛行場を最終地点とする米軍の燃料パイプラインで、2014年時点で燃料漏れを感知するシステムの約7割が機能していなかったことが、地元紙が入手した米国防総省兵站局の調査報告書から明らかになった。在日米軍報道部の回答に基づく続報によると、修理は2018年に始まり、現在は完了して新たな自動安全システムとパイプラインを巡回するスタッフの制度も導入したようだ。

ア 県は情報に触れているか、過去の事実関係と現在の運用状況を把握しているか伺う。

イ 米軍は、2014年の調査結果を公表しなかった理由について「沖縄の住民に危険はない」としているようだが、パイプラインは民間地の地下を通り、燃料漏出による引火や爆発、地下の汚染が心配される。県として抗議すべきではないか伺う。

(5) 米軍関係者の飲酒運転について

新型コロナ禍の中、米軍関係者による飲酒運転での摘発が増えている。県警によると、今年1月から10月までの摘発件数は49件で、既に2020年(41件)や2019年(42件)を上回っている。去る11月23日には、米海兵隊員が飲酒ひき逃げ事故を起こし緊急逮捕された。

ア 当該ひき逃げ事故の概要について伺う。

イ 飲酒運転摘発増加の原因、背景についてどう分析しているか伺う。

3 ハンセン病について

(1) 回復者支援のための協議会設置について

沖縄愛楽園と宮古南静園を退所したハンセン病回復者らでつくる「沖縄ハンセン病回復者の会」が、回復者の生活支援やハンセン病問題の啓発について話し合う協議会を県主体で設置するよう知事に要請した。回復者の切実な訴えを知事はどう受け止めたか。協議会設置に向けた決意と併せて伺う。

(2) ハンセン病家族補償法から2年。

ハンセン病に対する誤った国策で偏見と差別にさらされた元患者の家族に対し、国が名誉回復に取り組むとともに、補償金を支払う法律の施行から2年を迎えた。県内における補償金の申請状況はどうなっているか、実績と課題について伺う。

4 首里城再建について

(1) 令和3年2月議会において首里城復興基金事業として承認された令和3年度の「首里城復興基金事業の予算」14億4986万3000円の使途について、県は国と覚書を締結したのですが、その予算の内訳と現時点での執行状況を教えてください。

(2) 沖縄県の主体性をきちんと発揮できるようにするために、3通の覚書の第3条第1項に、沖縄県と沖縄総合事務局が、大龍柱の制作の在り方を含む首里城復元について、きちんと「協議を行いながら定める」という項目を新たに入れるべきであると考えているがどうか。

5 我が会派の代表質問との関連について